

宇都宮市長 佐藤栄一 様

2025年1月16日

日本共産党栃木県議団

代表 野村せつ子

日本共産党宇都宮市議団

団長 福田くみ子

幹事長 原ちづる

小室かな子

宇都宮市のPFAS汚染対策に関する申し入れ

昨年11月に宇都宮市南高砂町の井戸水から暫定指針値を超える濃度のP F A Sが検出され、市がその後実施した1キロ範囲の調査においても、高砂町2か所、南高砂町、雀宮町各1か所の計4か所で、指針値を超える汚染が判明しました。市は、さらに500メートル範囲を広げ、再調査を行う方針です。

ところが、その範囲外にあたる若松原3丁目の住民が自主的に井戸水を調査したところ、暫定指針値を20ナノグラム超えるP F O S、P F O Aが検出されたことが1月6日に判明しました。市保健所に相談し紹介された検査機関（栃木県環境技術協会）に調査を依頼したことです。この井戸は飲用水として利用できるよう定期的な検査を受け、管理してきたとのことです。次々に汚染が判明する事態に、市民は大きな不安を感じています。徹底した調査が必要です。については下記のとおり、緊急に対策を講じるよう求めます。

記

1. 市が行う再調査の範囲を、地下水の流れを勘案して大幅に拡大すること。
2. 市民が所有する井戸の自主的な検査を行う場合、市として補助すること。
3. 汚染が明らかになった地域の周辺にPFASを含む製品等を使用していた事業所等がないか調査し、汚染源の特定に全力をあげること。
4. かつて泡消火設備専用水槽を設置していた陸上自衛隊宇都宮駐屯地内の地下水、土壤等の調査への協力を要請すること。北宇都宮駐屯地に対して、泡消火設備の使用や訓練等の実績について照会すること。

以上